

数学の楽しさを実感し、生徒に伝えられる教師を目指す。

専門教育科目を通して数学の魅力を十分に理解し、広い知識と深い洞察力を養います。

教科としての「数学」を担うことのできる教材研究能力・教材開発力のある

高等学校・中等教育学校の教員の育成を目指します。

4年間の学び

数学専修で学ぶ主な学修領域には、代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、コンピュータ、数学教育学などがあります。1年次から3年前期までに、講義や演習を通してこれらの基礎を学んでいきます。3年後期からは研究室に所属し、少人数のゼミで専門を深く学びます。そして、4年次では4年間の学びの集大成として卒業論文をまとめます。

特色ある授業・ゼミ紹介

講義名「代数学B」

代数学は集合と演算をペアで考える代数系の構造を学ぶ学問です。代数学概論の群論、代数学Aの環論に引き続き、代数学Bでは体論を学びます。体は四則演算を自由に行うことができる代数系で、体の構造を持つ例として有理数全体や実数全体などが挙げられます。体論は様々な応用を持ち、例えばギリシアの三大作図不可能問題（・円積問題・立方体倍積問題・角の3等分問題）を証明することができます。本講義では、有理数の定義から始め、拡大体についての基礎概念を習得し、群論と体論を結び付けるガロア理論の入り口まで学びます。



2022年 1年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	教育原論				
2時限	英語Ⅰ	情報デザイン基礎	微分積分演習Ⅰ		発達と学習の心理学
3時限	初年次演習	情報教育入門	この時間を使って「学校体験活動入門」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	情報基礎	線形数学Ⅰ
4時限	キャリアデザインⅠ			微分積分Ⅰ	線形数学演習Ⅰ
5時限	キャリアデザインⅠ				

主な授業科目

- 線形数学Ⅰ, Ⅱ
- 線形数学演習Ⅰ, Ⅱ
- 微分積分Ⅰ, Ⅱ
- 微分積分演習Ⅰ, Ⅱ
- 集合と論理
- 初等整数論
- 代数学概論
- 代数学A, B
- 代数学特論
- 幾何学概論
- 幾何学A, B
- 幾何学特論
- 解析学概論
- 解析学A, B
- 解析学特論
- 確率統計Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ
- 確率統計特論
- プログラミング
- 中等数学科教育法CI, CII, CIII, CIV

[卒業要件に含める免許状]
高等学校教諭一種免許状(数学)

取得できる免許

[取得を優先して薦める免許状]
中学校教諭一種免許状(数学)
◎特別支援学校教諭二種免許状

[所定の科目履修で可能とする免許状]
◎高等学校教諭一種免許状(情報)

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



中等教育教員養成課程
数学専攻4年
愛知県立
旭野高等学校出身

*学生の所属は改組前の名称です

ICTを活用し、身の回りの現象と数学を結び付けて 子どもの数学への興味関心を向上。

子どもたちに数学の実用性やおもしろさを伝えるため、日常現象と数学を結び付けて指導することや、教育でのICT活用に関心を持って学んでいます。日常生活のなかで子どもたちが「ここで数学が役立つのか!」という発見を実感することで算数・数学のおもしろさを伝えたいと思っています。先生方はあらゆる分野に精通しており、より探究的で実践的な講義が展開され、充実した学びが得られます。さまざまな授業実践例をもとにアドバイスをいただくことができるため、将来教員になった時の指導に生かしていきたいです。